

# ミュージアムフェスタ 2017



## 「美術館ってどんなところ？描いてみよう！」展

平成29年12月5日（火）～17日（日）

豊田市美術館 高橋節郎館 ワークショップルーム

「ミュージアムフェスタ」として、11月11日（土）に写生大会を開催しました。

参加者128人（こども園児等47点、小学生55点、中学生4点、一般22点）の全作品を展示します。

### 4賞受賞者

（敬称略）

美術館大賞	山下 陽愛	畝部こども園	年中
豊田市教育委員会賞	松本 千花	古瀬間小学校	1年生
美術館館長賞	手寫 華菜	駒場こども園	5歳
高橋記念美術文化振興財団理事長賞	川西 佑佳	一般	

### 優秀賞受賞者

（敬称略）

中村 真子	2歳	平山 佐世	浄水小学校	小4
岩瀬 慶	豊田聖霊幼稚園 年中	松本 将汰	古瀬間小学校	小5
鈴木 里桜	豊田大和幼稚園 年中	岡部 絢香		一般
はたなか ゆの	花園幼稚園 年中	小寺 美由紀		一般
手寫 美緒	駒場小学校 7歳	松原 利朗		一般
木村 英吉	五ヶ丘東小学校 小2			

# 講 評

豊田市美術館では、市民の皆さんに美術館により一層親しんでいただけるよう、今年も 11 月 11 日、12 日にミュージアムフェスタを開催しました。

写生大会もこのイベントの一つとして、11 月 11 日に開催しました。当日は、雨上がりで風が強く、いささか肌寒く感じる天候でしたが、昨年より多くの皆さんにご参加いただくことができました。今年も庭園の各所で、お城や池、そして建物といった豊田市美術館の特徴ある題材をとりあげ、さまざまに表現してくださいました。

出品いただいた作品は、皆さんがそれぞれに美術館の面白さ、美しさを表現しようと工夫して描いてくださったことが伝わってきました。特に受賞された方々の作品には、同じ建物や庭園を描いていても、いずれも個性的で、豊かな表現があることに驚かされました。

美術館では、これからも展覧会の開催はもちろん、素晴らしい建物や庭園の魅力にも触れていただけるよう、さまざまなイベントを開催していこうと思っています。そして、もっともっと皆さんに親しまれる美術館を目指していきたいと思っています。皆様のご来館をお待ちしています。

豊田市美術館館長 村田 眞宏

今年も多くの方々に参加していただき、写生大会を開催することができました。明け方までぐずっていた天気も写生大会が始まるころにはすっかり好転して、ご家族やお友達と一緒に美術館の風景を描きながら、楽しく一日を過ごしていただけたと思います。また、愛知県立芸術大学の学生さんにアドバイスももらって、きっと皆さんそれぞれが満足のいく作品を描き上げたことでしょう。

ここ数年の傾向として今年も隅櫓をモチーフにした作品が多く、また、当日開催していたマルシェの様子を描いた作品も目立ちました。もちろんその他にも野外彫刻や美術館建築の眺望など、多様な作品が見られました。それらはどれも豊田市美術館の特色をよく表わすもので、美術館での写生大会らしい作品が揃いました。

・美術館大賞（5 歳）は、青空に木々の緑、色づいた葉っぱなど色彩豊かな作品です。また、画面には奥行きも表現されていて、中央の彫刻には立体感も感じられます。目の前の風景をしっかり捉え、素直にそしてバランスよく描き出しています。

・教育委員会賞（小 1）は、風景の中にたくさんある要素の中から描き出す対象を絞り込み、力強い構図を作り出しています。少ない要素ながら、画面からは前後関係も読み取れ、また、寒色が大半を占める中で赤色がアクセントとなっています。

・館長賞（5 歳）は、自分の気に入ったものを強調して、楽しみながら描いている感じがよく伝わってきます。しゃちほこ、紅葉、そしてお父さん、お母さんと私（お姉さん？）。色彩や形も感じたままに描き、素直な感覚にあふれた作品です。

・高橋財団賞（高 1 / 一般）は、写実的な画面を作り上げながらも、さまざまな工夫が見られます。やや強調された遠近感、実際の風景よりも抑えた色彩、そして水平バランスを崩した構図。あえて「ずらし」を加えることで印象的な作品になっています。

その他の作品いずれも、対象をよく見つめ、自分らしく描いたことが伝わってくる力作でした。こうして描かれた作品を見比べて、それぞれの見方があることを知ること、写生大会の楽しみ方の一つでしょう。

豊田市美術館 チーフキュレーター 北谷 正雄